



『もしも…』の時の備蓄品と持出品

大規模災害が発生した場合、電気、ガス、水道の停止や交通網の遮断など、ライフラインの停止により、食料などが調達しにくくなったり、調達できても調理が出来なかったりすることが想定されます。自分が被災することを想定し、日ごろから災害時に必要なものを考え、通常の備蓄品と非常時持出品を区別して備えるように心がけましょう。

備蓄品…災害が発生し、ライフラインや公的機関が機能しなくなった場合や在宅避難になってしまった場合など、外部からの支援物資が届くまでの数日間を過ごすために必要なもの。

非常時持出品…自宅に被害が及ぶような災害の場合、災害時にすばやく避難することが必要であることから、被災後の生活は避難所での避難生活になることを考え、非常持出袋（リュックなど）に非常食や水、生活・救急用品などを入れて備えておくもの。貴重品や普段使用している薬なども、いつでも非常持出袋に入れて持ち出せるように、日ごろから整理しておくことも必要です。

「あって良かった!」、「持ってた良かった!!」となるよう、災害時にどんな物が必要なのかをご家族で相談し合い、備蓄品リスト・非常時持出品リストを作成し、必要なものを備えておきましょう。



備蓄品（例）	非常時持出品（例）
●飲料水…1人1日3Lを3日分（9L）以上 ●非常食…非常時持出品も含め、最低3日分以上、できれば1週間分以上は備えること ●生活用品…毛布、簡易トイレ、ウェットティッシュ、衣類、タオルなど ●その他…ランタン、卓上コンロ、ガスボンベ、ポリ容器、長靴、ロープ、バケツなど (避難生活が長期化することを考えると火が使えるれば便利)	●貴重品…現金、預金通帳、印鑑など ●非常食…火を使わず食べられる乾パン・缶詰などや飲料水（500mlのペットボトルを3本を目安） ●応急医薬品…常備薬や持病薬、絆創膏やガーゼなど ●生活用品…衣類、ライター、生理用品、ウェットティッシュなど ●その他…懐中電灯、電池、マスクなど

※上記はあくまで備蓄品および非常時持出品の参考ですので、女性や乳幼児や高齢者の方など、人によって必要となるものが変わってくる場合があります。参考以外に必要となるものを各自想定し、備えましょう。
備蓄品および非常時持出品については、「利根町防災の手引き 2019年版」の8ページにも掲載しておりますのでご覧ください。

ローリングストック法 ～ 備蓄の方法 ～

ローリングストック法とは、非常食を長期間ストックするのではなく、普段の食事に利用する缶詰やレトルトなどを備蓄食料として、常時備えつつも普段の生活で消費し、その消費した分を買い足していくことで、期限が切れることなく、常に一定量を備蓄する方法です。

防災士連絡会設立にあたり 利根町長 佐々木 喜章

近年、各地域で、大地震、大型台風や集中豪雨などにより大規模な災害が発生しています。昨年9月、10月の台風15号、19号ならびに21号では、本町においても、長時間にわたる停電、河川の増水、道路への冠水など多くの被害が発生しました。



災害の規模が大きくなればなるほど、地域の隅々まで手が届かなくなります。このため、地区の被害を最小限にとどめるには、「自助」「共助」が絶対に必要になります。

これら「自助」「共助」の知識、技能を持たれているのが防災士の皆さまであり、地区における減災と地域防災力の向上のための活動が期待されます。地区での平時からの防災教育や防災訓練時のアドバイスなど、防災士の皆さまの役割は大変重要であり、地区防災の先頭に立ってご活躍いただきたいと思います。

この度、防災士の皆さま相互の情報交換および連携強化を図るために、この連絡会が設立されましたが、この連絡会の活動が、今後の地区防災、強いては、町全体の防災力向上に寄与されることを期待しております。

～利根町防災士連絡会への入会について～

防災士の資格を有し、町内に住所がある方などであれば、いつでも入会できますので、ご希望の方は問い合わせ先までご連絡ください。

防災士とは

防災士は、「自助・共助・協働」を原則として、社会のさまざまな場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を習得したことを認定特定非営利法人日本防災士機構が認証した方です。

防災士資格取得

町では、地域防災力向上のため、予算の範囲内で防災士資格取得に要した費用の一部を助成しています。（上限3万円）

問い合わせ先 役場総務課 消防交通係 ☎68-2211（内線316）

柳田國男記念公苑へぜひお越しください！

皆さんは、柳田國男をご存知でしょうか。「遠野物語」などを執筆し、後に「民俗学の父」とまで呼ばれることになる大変有名な民俗学者です。その柳田國男がここ利根町の小川邸で少年時代を過ごしていました。その小川邸の母屋を再現して作られたのが、「柳田國男記念公苑」です。公苑内には母屋だけでなく、きれいに手入れされた庭園や、國男少年が宝玉をもって満天の星空を見たという不思議な体験をしたといわれる、小川家の氏神様、当時の

土蔵を改良した資料館から構成されています。資料館には柳田國男に関する貴重な資料が展示されています。まだ見たことない方はぜひ一度来苑していただくことをお勧めします。もしかすると、あなたも当時の國男少年と同じような不思議な体験が出来るかも知れません。

見 学：無料
開苑時間：午前9時～午後4時30分
休 苑 日：月曜日、祝日、年末年始
場 所：柳田國男記念公苑（利根町布川1787-1）
☎68-7189

歴史民俗資料館へぜひお越しください

皆さんは、利根町の歴史に興味がありますか。歴史民俗資料館には利根町にゆかりのある人物の作品や、歴史的価値のある文化財などが展示されています。少年時代を利根町で過ごしていました柳田國男や、「利根川図志」で有名な赤松宗旦など、魅力あふれる展示がいっぱいです。

中でも目を引くのが、江戸時代に利根川を行き交ったという「高瀬舟」の模型です。こちらはその大きさから迫力があり、細部まで作られた様子から当時の時代背景を読み解くことができます。あなたも、ぜひ一度ご覧になってはいかがでしょうか。

ー利根町の歴史が分かるー

利根町史は、当町の歴史を研究する上での貴重な資料で郷土の魅力が分かります。見たことがない方は、ぜひ、歴史民俗資料館へお越しください。



見 学：無料
開館時間：午前9時～午後4時30分
休 館 日：月・火曜日、祝日、年末年始
場 所：利根町立歴史民俗資料館（利根町中谷967）
☎68-4600